

第 3136 回例会/雨天の為再企画行事

●4月10日(土)開催

(ヒヨコ・HNCM タイトル変更再企画)

「コバノミツバツツジ咲く社家郷山に遊ぶ」

布引支部 大谷加代子

2月28日、コロナ感染拡大第3波に対する緊急事態宣言が解除され、一息ついたのも束の間。3月に入って2週間も経たぬうち雲行きが怪しくなってきました。兵庫県の感染率は他県に比べ異常に高くなって来ており、このままでは第4波襲来で、又もや緊急事態宣言発令となるのでは?・そんなモヤモヤした気持ちに追い打ちをかけるかのように楽しみにしていた3月28日(日)の行事が雨で中止となりました!・・社家郷山は初めての方も多かったようで、リクエストが沢山あったのでしょうか、4月の第二土曜日に再計画されることになり、参加の機会を得ることが出来ました。



ストレッチで体を解す!(整備抜群のゆずり葉緑地)

阪急逆瀬川駅 8:30 集合。バスで10分余り、宝塚西高校前で下車。逆瀬川の上流部分に開けた砂防公園・ゆずり葉緑地が出発地点です。広々とした気持ちの良い公園内には、阪神淡路大震災の鎮魂之碑やモニュメントが点在しており、ここで一日のんびりと過ごしたい衝動にかられたのは私だけではなかったのでは?・・何時ものようにS姫?による登山開始前のストレッチ体操で体を解しました。天気は快晴!最高に気持ちの良いスタートとなりました。登山口は公園から北へ上がった所で、道標が無いので初めての方は少しわかりづらいでしょうね。

いきなり急勾配な歩き辛い登りに入り、この先どうなるの?と置いていましたが、初めての休憩場所であった高圧線の下まで来ると、緩やかな登りに代わりました。



上・咲き始めていたコバノミツバツツジ

下・みどりのじゅうたんの様なウラボシ



何時ものように頂いた地形図を開くと、登山コースが太線で書かれていたので、今いる場所をお聞きして確認。全体のコースが何とか把握出来ました。・・それからは西方向に向かって稜線を歩く



上・写真左奥は「甲山」です

下・檜ヶ峰にある「境界見出し標石」



と言うことも理解でき、少しずつ地形図を見るのが楽しくなってきました。又、社家郷山と言う名の山は存在しなく、先程通過した檜ヶ峰から西方面の小笹峠辺りまでの山域全体を社家郷山と言うことも教えて頂いて解りました。



北側の六甲全縦コースの展望処/馬の背岩

又、社家郷山の南側は、戦国時代の終わりから江戸時代にかけて農地を増やすため、それまで手がつけられていなかった台地などを開発していきました。農地にするには、水の確保が必要です。そのため、村々で度々分水の問題が起きて水争いに発展したそうです。・・・

計画では東三ツ辻出合という峠のような場所から、キレット峰を往復することになっており、南側へ、急で獣道のような道を下って行きました。



イノシシの水浴び場の表示と又タバ？（水たまり場）

右側にはイノシシの水浴び場の表示板が有り、何だか身体が痒くなってきたようで早々退散！少し登り返すと又急な下り。すぐに左へそれる獣道？へ入って進んで行くと、そこがキレット峰でした。



手作りのルート表示板

先端の狭い展望台には兵庫県が設置した「2級基準点」が埋め込まれており、そんな狭い所に19名も立てるわけは無く、何とか縦に並んで、カメラに収まった？のでした。この展望台の50メートルほど先が本来の表キレット峰とのことだと説明をして頂きましたが、鎖が張られ、通行止めでした。しかし、ここから眺める先程通って来た檜ヶ峰は堂々として立派なものでした。



狭いキレット峰に集う19名のヒヨコ隊！



下・檜ヶ峰を望む

上・2級基準点



元の分岐まで引き返し、そこから尾根沿いに小笹峠へ向かいました。小笹峠と消えかかった木の道標の奥で待望の第一昼食？タイムでした。・・・



小笹峠へ通じる道

休憩後、ここからは北方向へ下って行き、車道を少し東へ進むと、裏キレットコースに入ってきました。・・・

今日参加の皆さんは岩稜遊びが大変好きなようで、子供以上にはしゃいでおられました。（こちらは必至！！）



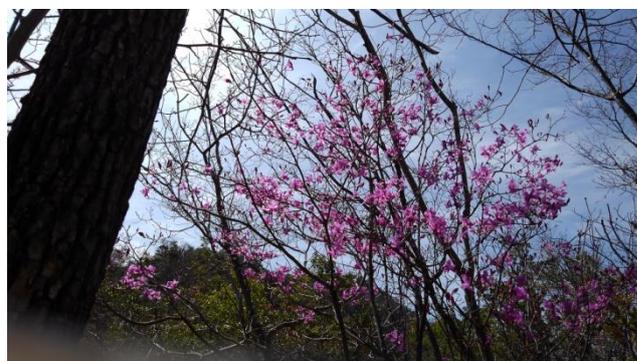
崩壊しそうな岩稜



さあ！岩稜遊びと参りましょう！



小塚サポートマン
(冗談マン?)
の雄姿



最後の河原手前に咲いていたコバノミツバツツジ

ファイナーレは本昼食タイム。燦燦と降りそそぐ陽光を楽しみながら、三々五々、思い思いに持参した食べ物・飲物をゆっくりと楽しみました。

諦めかけていた今回の社家郷山登山。復活企画して下さったリーダーや参加された18名の皆さんに感謝しつつ、筆をおきます。



写真撮影/会長
天候 晴れ
参加者 19名